



# ドローモ Duomo



ライン公式アカウント

No.205

duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

先月に引き続き、自宅リフォームのご報告。自宅の窓を全て、アルミの単板ガラスのサッシから高性能な樹脂枠のトリプルガラスのサッシに交換しました。これまで、内窓を取り付けてみたり、床下に50mmの断熱材を張り付けてみたりしてもほとんど体感的には変わらなかった室内の寒さが劇的に変わりました。朝起きるときにもほんわりと温かく家のどこに行っても同じような温度です。夜寝る時も薄い夏布団でまだ大丈夫です。遮音性も良くなり外の雨音が全く聞こえなくなりました。冬が来るのが楽しみになりました。(^^)/

## 我が家の断熱リフォーム工事 サッシ編

<<アルミ単板ガラスサッシから  
樹脂真空トリプルガラスサッシに交換>>



サッシ交換前



サッシ交換後



熱貫流率  
0.99  
W/(m<sup>2</sup>・K)

※IS A2102-3に基づいた計算値

Y K Kap 樹脂サッシ  
APW330 真空トリプルガラス  
アルゴンガス入り

左側の写真が今までのアルミ枠の単板ガラスのサッシです。これを右側の写真のように高性能な樹脂枠の真空トリプルガラスのサッシに交換しました。両方のサッシの奥に見える黄土色の枠は数年前に工事をした内窓の枠です。

この内窓には、複層で断熱性能の高いLow-Eガラスガス入りがはめこまれています。それにも関わらず我が家は寒くて寒くてたまりませんでした。今回の工事をして分かったことですが、以前内窓をした際には、1階のリビングの窓を3か所だけしかしなかったもので、体感的には効果をそれほど感じられなかったのではないかと思います。

これは、内窓が効果がないのではなく、家全体の断熱性を高めようと思ったら、家の大半の窓を断熱性の高い窓に置き換える事をしないと、他の窓からの熱の移動が大きいために効果を感じ取れなかったのだと思います。

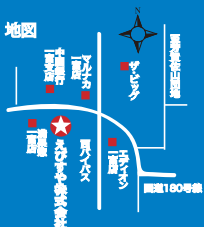
今回は玄関ドアを除いて勝手口も含めた全ての窓を断熱性の高い樹脂サッシに交換したために劇的に効果が感じ取れるようになったのだと思います。ではいったい既存のサッシと今回交換した樹脂サッシの性能はどれくらい違うのでしょうか？

サッシの性能は熱貫流率という指標で表されることが多く、小さいほど断熱性が高いと言えます。

アルミ単板ガラスサッシの熱貫流率は5W/m<sup>2</sup>K、樹脂真空トリプルガラスアルゴンガス入りサッシの熱貫流率は上の図で書かれているように0.99W/m<sup>2</sup>Kです。 何と5倍以上の差があります。

家の断熱性を高めようと思ったらまず窓からというのは本当だと思います。(^^)

次は、外壁の断熱を計画しています。この外壁に断熱材を貼り付けて、その断熱材の表面を樹脂モルタルとメッシュで覆い仕上げ材を塗っていく工事になります。その工事が完成したらまたここでご報告をさせていただきます。



ご連絡先



086-284-6170

えびすや 株式会社

〒701-1211 岡山市北区一宮113-1

E-mail. info@ebisuya-net.co.jp

FAX. 086-284-6175

こちらから無断でお伺いすることはできません。

HP <https://www.ebi-ken.com>